

第1学年4組 図画工作科学習指導案

1 題材 うきうきボックス

2 目標

- 箱の飾り付けを考えたり、互いの作品を見せ合ったりすることを通して、箱の形や色を生かした飾り付けをするなど、工夫して表すことができるようになる。
- 箱の形や色をもとにつくりたいものを思い付き、どのように表すか考えることができるようになる。
- 箱を飾ることに関心をもち、箱でつくりたいものを表す学習活動に、楽しく取り組むことができるようになる。

3 題材計画（4時間）

段階	配時	学習活動	手立て
見通す	1/4	<p>1 どのように箱を飾るか見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 材料の鑑賞を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・見立て遊びをし、箱が何に見えるか、アイディアを出し合う。 ○ 題材の学習内容と本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 題材のゴール：箱を変身させて、1の4うきうきボックスワールドを作ろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程や1単位時間の流れの確認を行う。 ○ 「草むら」「海」「町」「動物園」の世界を選び、どんな作品をつくるか、計画を立てる。 ・各世界で連想するものを出し合い、どんな作品をつくるか、計画カードに書く。 ・材料を見て、作品作りをするまでの発想を膨らませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業しやすい箱を用意するために、どんな箱を準備したらよいか予め伝えておく。 (本題材学習前) ○ 作品づくりの計画を具体的にするために、各世界から連想するものを黒板等に掲示する。
行う	2/4	<p>2 工作で使える工夫を確認し、作品をつくり始める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画カードに書いた、作品をつくり始める。 ○ 目や手足等の接着方法や、模様の付け方等を学んだり、実践したりする。 ○ 本時の振り返りを行い、次時への見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習できたことと、その理由 ・次の学習で頑張りたいことと、その理由 ・作品の撮影 (ICT) ・教師の作品を提示し、付け加えたい材料を考えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ イメージを膨らませるために、作品に名前を付ける。 ○ 次時の見通しをもつために、振り返りの時間を設ける。 (ICT)
	3/4 (本時)	<p>3 前時までに作った自分の作品の表し方を見直し、作品を完成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他の児童の作品を見たり、自分の作品に意見をもらったりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品の気になったところを質問したり、自分の作品についてアドバイスをもらったりする。 ・教師の作品を見て、接着方法等を確認する。 ・児童が気付いた、他の児童の作品の良い点を、拡大して提示する。 (ICT) ○ どのような工夫を加えるか選択し、作業を進める。 ○ 前時までの作品と完成した作品を比較し、本時に付け加えた工夫等を発表する。 ○ 振り返りをし、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習できたことを振り返りの項目から選択する。 ・作品づくりで頑張ったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品の工夫を増やすために、工夫の視点を提示する。 ○ 本時の工夫した所を明確にするために、前時と本時の作品を比較しながら、工夫した点を全体交流する。 (ICT)
振り返る	4/4	<p>4 完成した作品を世界ごとに並べ、作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 完成作品の写真を撮り、タブレットの共有機能を使って提出する。 ○ 作品を世界ごとに分け、作品で遊びながら感想を伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品の良いところを伝える。 ・作品で遊ぶことによって、達成感を味わう。 ○ 振り返りをして、本題材のまとめを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品でよかったところと、その理由 ・「うきうきボックス」の感想 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品の工夫や良さを交流しやすくするために、作品を使って遊ぶ時間を設定する。

4 主眼

箱の形や色を生かして、さらに形を変えたり、飾りを付けたりすることで、自分が表したい世界に合わせた作品を工夫してつくることができるようになる。

5 本時過程 自己選択・自己決定の場（つなぎタイム）

段階	学習活動・予想される児童の反応	手立て（○）と評価（◇）	配時																	
導入	<p>1 前時の自分の振り返りを確認し、本時のめあてを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「カラフル魚」にもっと色を足したいな。 「大きなくまさん」が動き出すようにしたいな。 「みんなのバス」は乗るところのドアを本物みたいにしたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> もっと はこを パワーアップさせよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 付け加えたい工夫を具体的に考えることができるようにするために、前時の学習プリントをもとに確認させる。 	3																	
展開	<p>2 友達や教師の作品を見たり、作品について質問し合ったりして、作品について意見交流をする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> かいたり ぬったりして パワーアップ </td> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> ざいりょうで パワーアップ </td> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> はって パワーアップ </td> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> かたちをかえて パワーアップ </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">  </td> <td style="text-align: center;">  </td> <td style="text-align: center;">  </td> <td style="text-align: center;">  </td> </tr> </table> <p>・「カラフル魚」は、もっと色画用紙を切り貼りしたら色が増えるよ。 ・「大きなくまさん」の体に足をつけてみるのはどうかな? ・バスの窓は箱を切って開けるようにしたんだね。すごい!</p> <p>3 前時の作品の表現を見直して、どのような工夫を加えていくか選択し、作品完成後に発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どのように作品づくりを進めるか、ワークシートに記入する。 ○ 付け加えたいことに合わせて、材料や飾りつけ方を工夫し、作品を完成させる。 <div style="background-color: #ffffcc; border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【方法選択】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px; text-align: center;"> 思 い </td> <td style="width: 33%; padding: 5px; text-align: center;"> 方法 </td> <td style="width: 33%; padding: 5px; text-align: center;"> 【方法選択】 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> もっと模様を付け加えたいな。 </td> <td style="text-align: center;"> 動物が立つようになしたいな。 </td> <td style="text-align: center;"> 乗り物のドアが開くようになしたいな。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 【飾りの工夫】 ・色画用紙を切って貼る。 ・シールを使う。 ・絵を描く。 ・色を塗る。 </td> <td style="text-align: center;"> 【材料の工夫】 【貼る工夫】 ・ペットボトルをボンドで付ける。 ・画用紙を丸めてテープで貼る。 </td> <td style="text-align: center;"> 【箱の形を変える工夫】 ・箱の一部を切って開くようにする。 ・箱をくり抜く。 </td> </tr> </table> <p>【個別と協働の一体的充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の作品を見たり、自分の作品に助言をもらったりしたことを通して、新しい材料を使って、作業をしてみる。 真似したい技法を試す。 <p>○ 前時までの作品と完成した作品を比較し、本時付け加えた工夫等を発表する。</p> <p>(前の作品はモニターに写した状態で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は箱に色画用紙をたくさん貼りました。名前が「カラフル魚」なので、鱗をきらきらにするために、ボンドでモールも付けてみました。 <p>4 4つの視点をもとに学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時でできることをワークシートから選択する。 ○ 作品づくりで頑張ったことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・色画用紙を使ってパワーアップできました。 ・友達に言われて、モールを付けることができてよかったです。 </div>	かいたり ぬったりして パワーアップ	ざいりょうで パワーアップ	はって パワーアップ	かたちをかえて パワーアップ					思 い	方法	【方法選択】	もっと模様を付け加えたいな。	動物が立つようになしたいな。	乗り物のドアが開くようになしたいな。	【飾りの工夫】 ・色画用紙を切って貼る。 ・シールを使う。 ・絵を描く。 ・色を塗る。	【材料の工夫】 【貼る工夫】 ・ペットボトルをボンドで付ける。 ・画用紙を丸めてテープで貼る。	【箱の形を変える工夫】 ・箱の一部を切って開くようにする。 ・箱をくり抜く。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品の工夫を増やすために、作品を鑑賞したり、意見交流したりする際の工夫の視点を提示する。 	7
かいたり ぬったりして パワーアップ	ざいりょうで パワーアップ	はって パワーアップ	かたちをかえて パワーアップ																	
																				
思 い	方法	【方法選択】																		
もっと模様を付け加えたいな。	動物が立つようになしたいな。	乗り物のドアが開くようになしたいな。																		
【飾りの工夫】 ・色画用紙を切って貼る。 ・シールを使う。 ・絵を描く。 ・色を塗る。	【材料の工夫】 【貼る工夫】 ・ペットボトルをボンドで付ける。 ・画用紙を丸めてテープで貼る。	【箱の形を変える工夫】 ・箱の一部を切って開くようにする。 ・箱をくり抜く。																		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 工夫を加えやすくするために、材料を準備したり、交流しながら作成したりできる場の設定をする。 	25																	
終末		<p>◇ 作りたい作品に合わせて、飾りつけや材料等を工夫している。</p> <p style="text-align: right;">【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の工夫した所を明確にするために、前時の作品と本時の作品を比較しながら、工夫した点を全体交流する。 <p style="text-align: right;">(ICT)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実行した工夫が分かるようするために、活動前後を比較することができるワークシートを使用する。 	5																	